

～世界結核デー記念～ 国際結核セミナー

日時：令和6年3月7日(木)
13:00～17:00予定

結核脆弱者層に対する対策

【基調講演】

ドイツにおける結核対策の現状と課題ー結核脆弱者層の人々における結核対策ー(仮)
Brit Haecker, German Central Committee Against Tuberculosis e.V.

【ワークショップ】

国内における結核脆弱者層への対策

本年度の国際結核セミナーでは、基調講演としてドイツ結核対策中央委員会 医学顧問・呼吸器科医のDr Brit Haecker氏から、ドイツにおける結核脆弱者層への対策についてご講演いただきます。

引き続き後半のワークショップでは、保健所、医療機関等の立場から、結核脆弱者層への医療的公衆衛生学的介入について議論いただく予定です。

令和5年度 結核対策推進会議

日時：令和6年3月8日(金)
13:00～16:45予定

結核低まん延下でのこれからの対策 ～学校保健や新技術に着目して～

【講演（質疑）】 ①結核対策最新情報 ②結核検査の新技術
③帰国時結核治療支援(Kikoku-TB Care) ④その他企画中

ワークショップ《学校保健の結核対策》

【基調講演・講演（質疑） 3題】それぞれの立場から（学校現場・保健所・小児科医）

日本の全結核罹患率は2022年に人口10万人当たり8.2に減少しました。今後もさらなる罹患率低下が見込まれ、これに伴い医療従事者を含め、世間一般の結核への注意・関心の急速な低下が予想されます。一方、少子高齢化に伴う労働人口減少に対応し、外国人労働者の増加が見込まれます。これらの多くはアジア圏の結核高まん延国の出身であり、今後、わが国の若年者では結核患者のほとんどが外国人で占められることが予想されます。このような状況下で、医療機関や保健所は医療・結核対策の質を確保し、どのような対策を展開する必要があるかが課題です。ここでは新たな挑戦として、有効な医療体制や対策強化を考える機会としたいと思います。後半は、学校保健に関連した結核対策のワークショップを予定しています。今後ますます増加が見込まれる外国出生者の児童生徒などにも焦点を当て検討する予定です。



申込要項

参加・資料代

無料
(世界結核デー記念事業として結核予防会が経費を負担)

対象

保健医療関係者等

定員

500名

申込方法

申込みフォーム入力

または申込書(excel)をダウンロードしてご記入の上メールに添付

***同所属の場合はまとめてお申し込みいただいて構いませんが、
視聴希望者のお名前はお一方ずつご記入ください。**

申込後の流れ・
資料

- ①お申込み
- ②(送信元アドレスへ)自動返信メールが届く
- ③後日、ID・PW／講義データURLが届く
- ④クラウド上に講義データを取りに行く

***自動返信メールは、送信後すぐに届きます。
届かない場合は下記までお問い合わせください。
こちらが申込受領メールとなりますので、
当日までお取り置きください。**

申込(問合せ)先

結核研究所 対策支援部 国内研修担当
rittraining@jata.or.jp

* 講義データ取得のため、後ほど指定クラウドへアクセスいただきますので、参加者様ご自身で予めご調整ください。メール送付など他取得法のご案内はございません。

* 後日配信の有無は未定です。

お会いできますことを楽しみにしております。
万障お繰り合わせの上、是非ご参加ください。

